



ベトナム情報レポート（2022年2月7日）

（公財）大阪産業局 ベトナムビジネスサポートデスク
株式会社NCネットワーク

ベトナムでは旧正月休みがありました。多くの企業は1月29日～2月6日までの9連休が多かったようですが、ベトナムは祝日が少ないので、旧正月は一大イベントです。家のデコレーション、お世話になった人へのお土産、飲んだり食べたりのがたつきがあり、お金もたくさん使う時期です。運悪くこの時期に感染してしまった人、濃厚接触者になってしまった人は、田舎の家族にうつしてはと帰省を諦めた人もいます。中には帰省の為バイクで何百キロも移動する強者もいます。年末の買い出しでお店はかなり繁盛している様子が見られ、街中心部の正月デコレーションも華やかでした。ただし、恒例のカウントダウンの花火打ち上げは中止でした。

現地駐在員はここ2年ほど日本へ帰っていない人が多いのですが、それぞれ家庭環境によって、例えば年老いた両親の事情、受験を控えた子どもの事情、運転免許の更新など、今までは年に数回日本に帰ることで対応していたことができず、会社に頼んで隔離期間覚悟で帰国した方もいました。ある駐在員は親に万が一の事が起きても、隔離期間があるとすぐに会いに行くことができないので、親の看取りができない覚悟をしていると言っていました。

ベトナムでのコロナ感染者は相変わらず高止まり状態で、これからオミクロン株も増える（実は相当数既に入っているのではとも言われていますが、オフィシャルにはまだデルタ株感染と言っています）と思いますが、政府の方針は隔離期間の短縮、観光客の受け入れなど開放路線に舵を切っています。大丈夫か？といった意見もありますが、大方の意見は厳しいロックダウンはせず、経済を動かす方向に賛成の雰囲気があります。オミクロン株はそんなに重症化しないよさだという事で人々の恐怖心がかなり薄らいでいることを感じます。